

第六十四回帝國議會 衆議院

簡易森林火災保險法案委員會會議錄(速記)第三回

簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出)
穀類搗精製粉取締法案(荒川五郎君外二名提出)
穀類搗精製粉取締法案(山本莊一郎君外二名提出)
擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和八年三月二十日(月曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀬規矩雄君

理事壽原英太郎君 理事手代木隆吉君

杉本國太郎君 金光 庸夫君

栗原彦三郎君

三月十日理事海野數馬君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十日手代木隆吉君理事ニ

當選セリ

同月二十日委員兼田秀雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日理事兼田秀雄君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ壽原英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十八日擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 小山 松吉君

出府政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 大久保偵次君

大藏書記官 大野 龍太君

司法參與官 岩本 武助君

司法省民事局長 長島 毅君

農林參與官 松村 謙三君

農林省山林局長 木島 駒藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出)

擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○清瀨委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、擔保附社債信託法中改正法律案ヲ議題ト致シマス、政府ノ提案ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○小山國務大臣 擔保附社債信託法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、

本案ハ經濟界ノ實情ニ鑑ミマシテ、擔保附社債信託法ニ改正ヲ行ヒマシテ、社債金融ノ現狀ニ照シ、最モ緊要ト認メラレル事項ヲ同法中ニ加ヘヨウトスルモノデアリマス、

改正ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、其第一ハ、一定總額ノ社債ヲ數回ニ分チテ發行シ、逐次發行ニ係ル各回ノ社債ハ、同一順位ノ擔保權ニ依テ擔保セラレル制度ヲ採用スル點デアリマス、

是ハ社債ニ一種ノ根抵當ヲ附シテ發行スル方法デアリマシテ、之ヲ認ムルコトニ依リマシテ社債金融上種々ノ便宜ヲ與ヘ、現下事業界及金融界ニ於ケル緊急ノ要求ニ應ズルコトヲ得ルノデアリマス、

仍テ此制度ノ採用ニ必要ナル種々ノ規定ヲ設ケタノデアリマスガ、尙ホ之ニ關聯致シマシテ、現行登錄稅法ニハ、其課稅手續上

スル社債發行ノ方法ニ適應セザル點ガアリマスノデ、是ガ爲ニ登錄稅法ヲ改正致シマシテ、併セテ不動産登記手續及鐵道抵當法

ニモ、ソレト適當ナル改正ヲ加ヘルコトト致シマシタ

第二ノ點ハ此社債ニ附スルコトヲ得ベキ物上擔保ノ種類ヲ擴張致シマシテ、漁業財團抵當及自動車交通事業抵當ヲ之ニ加ヘン

トスルモノデアリマス、漁業財團抵當ハ大正十四年漁業財團抵當法ニ依リ、又自動車交通事業抵當ハ昭和六年自動車交通事業法ニ依リ制定セラレタルモノデアリマシテ、

共ニ社債ニ附スルコトヲ得ベキ物上擔保ト爲スノ必要ヲ認ムルモノデアリマス、尙ホ輕便鐵道抵當ハ大正十年ニ輕便鐵道法ガ廢止セラレマシタ結果、其存在ヲ失ツタモノデアリマスカラ、之ヲ削ルコト、致シタノデアリマス、以上本法ノ改正ハ、之ヲ以テ現下經濟界ノ要求ヲ滿タシ、社債金融ヲ圓滑ナラシメ得ルモノト信ズルノデアリマス、

宜シク御審議ノ上御協贊アラランコトヲ希望致シマス

○清瀨委員長 諸君ニ御諮リ致シマスガ、只今ノ法案ヲ續イテ審議ニ入りマスカ、或

付託議案

簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出)
穀類搗精製粉取締法案(荒川五郎君外二名提出)
穀類搗精製粉取締法案(山本莊一郎君外二名提出)
擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

ハ他ノ併託サレタモノガアリマスカラ、ソレノ説明ヲ求ムルコトニ致シマスカ、諸君ノ御意向ニ依テ決メタイト思ヒマスカ、ドウ致シマセウカ

○金光委員 委員長ノ御意向ニ依テ御進行願ヒタラ宜カラウト思フ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○清瀬委員長 私ハ一應今提案ノ理由ヲ御伺シタカラ、其理由ニ付テ考ヘル爲ニ此法案ヲ暫ク措イテ、他ノ併託サレタル案ノ説明ヲ求ムルコトニシタイト思ヒマスカ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○清瀬委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマセウ——暫ク休憩致シマスカ

午前十一時五分休憩

午前十一時十九分開議

○清瀬委員長 引續イテ會議ヲ開キマシテ、簡易森林火災保險法案ノ審議ヲ進メタイト思ヒマス、之ニ付テ農林省ハ色々御調ニナツテ居ルト思ヒマスカ、農林省ノ御意見ヲモウ一應御伺シタイト思ヒマス

○木島政府委員 只今出テ居リマスル法案ニ對シマスル意見ヲ申述ベマス前ニ、一應農林省デ從來森林火災保險ヲ調査致シマシ

タ經過ヲ申上ゲテ、ソレト御手許ニ配付シマシタル農林省ノ森林火災保險ノ要綱アタリト御照合セテ願ヒマスカ、農林省ノ大體ノ趣旨ヲ御諒承願ヒマス、農林省ニ於キマシテ、森林火災保險ノ必要ヲ認メマシテ、調査ニ著手致シマシタノハ大正七年頃デアリマシテ、其後大正九年ノ暮ニ、其當時調査シタ結果ニ基キマシテ、現在保險ヲヤツテ居リマスル東邦火災ニ勸メマシテ、サウシテ此森林火災保險ヲ始メサセルヤウニ致シマシタ、其後民間ニ於テ三ツノ會社ガ續イテ此保險ヲヤルヤウニナツタノデアリマスカ、其當時ニ於キマシテハ、此保險料算出ノ基礎デアリマス所ノ森林火災ノ統計ガ、マダ不十分ナ點モアリマシタシ、尙ホ此火災ノ危険ト云フモノガ年ニ依リマスト非常ニ大キクテ、平年ニ數倍スルヤウナ場合モアリマスノデ、隨テ民間ノ保險ニ於キマシテハ、保險料ガ或ル程度ニ高率ニナツテ、尙ホ之ヲ引受ル場合ニ於テ、或ル地方ニ於テハ其引受金ヤ、伐木ニ或種ノ制限ヲ付ケルト云フヤウナ風デ、此普及ガ思ハシクナカッタ、殊ニ幼齡林、私共ノ方デ林齡ノ二十年以下ノモノヲ幼齡林ト言フテ居リマスカ、其幼齡林ニアリマシテハ普通火災ニ罹リマスト云フト、全損、總テ燒ケテシマヒマシテ、成樹林ノ

ヤウニ燒ケ残りノ木ヲ賣ッテ、相當ノ利益ヲ得ルト云フヤウナコトハ出來マセヌノデ、多クノ場合ハ全損ニナリマスルシ、又其地被物ノ關係カラ致シマシテ、火災ニ罹ル程度モ高イト云フヤウナ風デアアル、サウ云フ風デアリマスルノデ、寧ロ保險ニ付スル必要ハ幼齡林ニ非常ニ多イノデアリマスカ、斯ウ云フ危険率ノ高イ爲ニ、民間ノ會社デハ是ガ引受ニ付テ難色ガアル、自然成樹林ト合セテ引受ケル場合ノ外ハ、成ベク之ヲ避ケルト云フヤウナ傾向デアッタ、斯ウ云フ風デアリマスルト云フト、林業振興ト云フヤウナ立場カラ言ヒマシテ、甚ダ遺憾ニ存ジマシタノデ、大正十五年ニ森林保險調査書ヲ取りマシテ、尙ホ商工省ノ損害保險制度調査委員會ニ諮問致シマシテ、サウシテ森林火災保險ニ關スル或ル答申ヲ得マシテ、其答申ニ基キマシテ研究ノ結果成案ヲ得タノデアリマス、サウシテ昭和二年及昭和四年ニハ議會ニ提出スルヤウナ準備ニナツテ居リマシタガ、生憎議會ガ解散ニナリマシテ、其儘ニナツタト云フヤウナ經過デアリマシテ、私共ノ方デ考ヘテ居リマスルノハ、全ク林業ノ振興、尙ホ山村民ノ經濟ノ安定、斯ウ云フ二ツノ見地カラ此保險ノ必要ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、御承知ノ

ヤウニ農林省ニ於キマシテモ、國土ノ保安ハ勿論、木材ノ需給ト云フ立場カラシテ、極力造林ノ獎勵ヲヤツテ居リマスケレドモ、御承知ノ如ク相當多額ノ費用ヲ投ジマシテモ、是ガ還ッテ來マスル迄ニハ隨分長イ年月ヲ要スル、其間ニ火災ニ遭ヒマシテモ、何等ノレニ對シテノ補償ノ途ガナイト云フヤウニナリマスルト云フト、林業ノ振興ニ支障ヲ來タスバカリデナク、サウ云フ造林業者ガ再び起ツコトノ出來ナイヤウナコトニナリマシテ、殊ニ此造林ニ熱心ナル者ハ中以下ノ林業家デアリマシテ、五町步前後ト云フヤウナモノガ一番造林ニ熱心デアリマスカ、サウ云フヤウナ者ガ、折角造林シタ所ノ森林ニ付テ火災ガ起キテモ、何等其後デ補償ノ途ガナイト云フトニナリマスト云フト、跡地ノ更新ト云フヤウナコトモ出來マセヌシ、尙ホ個人的ニモ經濟ノ破綻ヲ招クト云フヤウナコトニナリマスルノデ、獨リ林業ノ振興ノミデナク、山村民ノ經濟ヲ安定サセルト云フ上カラ申シマシテモ、是非共此保險ガ無ケレバナラヌト云フ風ナカラ、此案ヲ樹テ、居ルヤウナ次第デアリマス、此案ノ大體ノ要綱ハ御手許ニ配付シテアルヤウナ風ニナツテ居リマスカラ、之ニ依リマシテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、

之ニ依リマス、大體ノ根本ノ所ハ、今度御提出ニナリマシタ法案ト其根幹ニ於テハ、一致シテ居ルヤウニ存ゼラレマス、細カイ點ニ付テハ色々又考様モアリマスガ、大體ノ根幹ハ一致シテ居ルヤウニ存ジマス

○栗原委員 私ハ提案者ニ質問シタイト思ッテ居タノデアリマスガ、提案者側ノ委員ガ今御出デニナッテ居リマセスカラ、已ムヲ得ズ政府委員ニ御尋致シタイト思ヒマス、

此要綱モ拜見致シマシテ、私共農業保險ニ次イデ農業ニ關スル各保險ト、森林保險トハ相俟ッテ、農村ニ對シテ最モ必要ナ事柄デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯此農林省ノ要綱竝ニ今回提出サレタ法案ノ大體ヲ見マシテ、吾々ノ希望ヨリモ聊カ遠イ所ノモノガアル、少シ隔靴搔痒ノ感ナキ能ハズト云フヤウナ點ノアリマスルコトハ、何處カラサウ云フ風ニナッタカト言ヘバ、大體此農林省ノ要綱ナリ、又是ハ一體農林省ノ

ヲソクテ拜借シテ出シタヤウニモ思ハレマスガ、只今委員會ニ付セラレテ居リマス所ノ民政黨ノ出シタ案ト、總テガ此立案ノ根本觀念ガ森林業者若クハ農家ノ利益ヲ見テ、更ニ又農村ノ人々ガ造林スル上ニ憂トナッテ居ル所ノモノヲ除ク爲ニト云フコトヨリモ、寧ロ獨逸ノヤッタヤウナ風ニ、國家

ノ森林ニ對スル政策ト云フ見地カラ御立案ニナッテ居ルノデハナイカ、斯ウ觀ラレルノデアリマス、一體御承知ノ通り、獨逸ハ造林其他山林ノ整理ト云フコトニ非常ニ留意シマシテ、獨逸ノ山林ニハ禿山ガナイ、丁度美人ガ新ニ梳ッタヤウニ、何處デモビチン

ト旨ク行ッテ居ルト云フコトニハナッテ居リマスルガ、其實際ニ於テハ、獨逸ノ山林ノ全面積ニ對シテ、保險ノ加入者ガ非常ニ少イ、又獨逸ノ年々ノ森林ノ火災ニ對スル所ノ保險支拂額ガ非常ニ少イ、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノハ、獨逸ノ遣リ方ノ保險ノ形式ガ、國家ノ森林ニ對スル高等政策ト云フ見地ニ立脚シテ居リマスル爲ニ、本當ニ當業者ノ利益幸福ガ等閑ニ附セラレルト云フ嫌ガアル結果デアラウト思フノデアリマ

ガ、此建前ガ悉ク獨逸ノ遣リ方ヲ採ッテ居ッテ、佛蘭西トカ、諸威トカ、或ハ米國トカト云フヤウナ組合組織ニ國家ガ補助スルト云フ形式デナシニ、國營ト云フヤウナ形式ヲ採ッテ居ッテ、全然獨逸ト形式ヲ同ジウシテ居ル、精神ヲ同ジウシテ居ルヤウニ大體ニ見ラレルノデアリマスガ、果シテ然リトスレバ、世界中デ一番森林保險ノ發達シテ居ル、實效ヲ收メテ居ル國ノ形式ヲ採ラズ、其實際ノ模範ヲ採ラナイデ、一番——國家

ノ見地カラスル森林事業ト云フモノハ旨ク行ッテ居リマスルガ、森林保險トシテハ、一番失敗シテ居ル國ノ形式ヲ採ッテ居ル、斯ウ云フ憾ミガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、是ハドウ御考ニナルノデアリマスカ

○木島政府委員 保險組織ノ態様ニハ色々アルヤウデアリマシテ、ドノ經理ノ組織ニ

モ一長一短ガアリマシテ、ドレガ一番良イト云フコトハ言ヒ難イト思ヒマス、我國ノ現狀ニ照シマスト云フト、國營保險ノ方法ガ最モ良クハナカラウカト考ヘテ居リマス、相互組合ヲ作ッテヤリマス所ノ組合組織ノモノハ、成ベク區域ヲ狭クシテ、相互共濟ニ便スルト云フノガ根本ノ趣意デアラウト思ヒマス、所ガ森林保險ノ方ハ被害ガ非常ナ廣イ面積ニ及ビマス爲ニ、例ヘバ町村單位ト云フヤウナ狭イ組合デハ、一旦危險ガアツタ場合ニ到底危險ヲ背負ヒ切レナイト云フコトニナル爲ニ、之ヲ我國ニ持ッテ來テ相互組合主義ヲ採リマスレバ、少クトモ縣ヲ區域トスルヤウナ組合ヲ作ラナケレバナラナイデアラウト思フ、サウ致シマスト組合組織ノ妙味ガ失ハレルト思ヒマス、一方國營ノ主義ハ、日本ノ國情ト致シマシテハ、簡易生命保險等ニ致シマシテモ非常ニ普及

ニ便利デアアル、尙ホ保險料モ十分ニ低下スルコトガ出來ル、又保險金ノ支拂ト云フコトニ付テハ、何時デモ完全ニスルコトガ出來ル、サウシテ永續的ニヤッテ居リマスカラ、森林當業者ニ於テモ非常ニ利益デアルト云フヤウナ、色々ノ點ニ於テ國營保險ガ今日ノ我が國情ニ適スル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○栗原委員 森林ノ火災ニ罹ル率ハ、學生トカ、サウ云フヤウナ登山者ガ非常ニ殖エタ、又汽車デアルトカ、工場デアルトカ云フヤウナモノガ各地ニ段々殖エテ行クト云フ、是等種々ノ情勢カラ、山林ノ火災ハ非常ニ殖エテ行クノデス、併ナガラ各部落ニ山林ニ對スル消防ト云フモノニ付テ非常ニ苦心スル結果、政府ニ火災ガアツタ云フ届出ヲスル程ニ大キクナラナイノデアツテ、統計ノ上ニ於テハ、或ハ非常ナ勢ヲ以テ率ガ高メラレテ行ク事ガ現ハレテ居ラナイカモ知レマセスケレドモ、實際ニ於テハ非常ニ多イノデアリマス、ソレハ各部落

ハ非常ニ多イノデアリマス、ソレハ各部落ニ於テハ、非常ニ注意シテ、所謂家屋デ言ヘバ小火ノ程度デ消シテシマフ、サウシテ駐在所ノ巡查ニ届出ル程ニモ至ラヌ、又巡查モ小サナモノデアレバ届ケナイト云フヤ

ハ非常ニ注意シテ、所謂家屋デ言ヘバ小火ノ程度デ消シテシマフ、サウシテ駐在所ノ巡查ニ届出ル程ニモ至ラヌ、又巡查モ小サナモノデアレバ届ケナイト云フヤ

ウナコトノ爲ニ率ガサウ上ッテ居ラナイカモ知レマセヌ、或ハ上ッテ居ルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フヤウナ實情カラ考ヘテ見マシテモ、成ベク相互組合ノ組織ニシテ、サウシテ成ベク山林ヲ有チ、造林ヲシテ居ル人全部ヲ組合員ニスルト云フヤウナコトニシタ方ガ、總テノ人ガ各自ノ損害ヲ少クスル、又保險金額ヲ少クスルト云フコトノ爲ニ努力ヲ致シマスカラ、其方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、若シサウデナシニ國營保險ノヤウニ致シマセバ、道德的ノ危險、更ニ又道德ト云フ範圍ニ至ラナイ迄モ、

自分ノ仕事ヲ捨テ、飛込ンデ行ッテ、山火事ヲ未然ニ防グト云フヤウナ働キガ鈍リハシナイカ、斯ウ云フ憂ガアルト考ヘルノデアリマスガ、其點ニ關シテハドウ御考ニナリマスカ

○木島政府委員 御尋ノ點ハ御尤ニ存ジマセガ、組合員ノ相互組合組織ニ依リマシタ方ガ今申シマスルヤウナ火災ガ起キタ場合ニ、此危險ヲ相當防止スルコトニ效果ガアル、又道德的ノ危險ヲ防グ上ニ效果ガアルト云フコトハ全く同感デアリマス、唯先程申シマシタル通り、相互組合組織ニ致シマセバ、我國ノ現狀ト致シマシテハ、ドウシテモ縣單位クライニシナケレバナラス、

斯ウ云フコトニナリマスと云フト、組合員相互ノ間デ管掌スル、相互ノ間デ救済スルト云フ妙味ガ大變失ハレルヤウニ考ヘラレトデアリマス、ソレデ道德的危險ノ防止ト云フコトハ、又他ノ方面デ考慮スルコトト致シマシテ、ヤハリ組織ノ態様ト致シマシテハ、森林保險ノ方ハ幼齡林ニ付キマシテハ、國營ノ方ガ宜クハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○栗原委員 極ク簡單ニ御尋致シマスガ、政府ノ方ノ案ト、民政黨ノ提案ニナル所ノ法案ト違ッテ居リマス所ハ、第三條ノ「保險ノ目的ハ林齡二十年以下ノ森林トス」斯ウ云フノデアリマスガ、是モ澤山ハ違ッテ居ラナイカモ知レマセヌガ、ヤハリ植付ケタ時カラト云フコトニナッテ居ルノデアリマセウカ、林齡二十歳以下」ト云フノハ、植付ケタ造林ノ年カラ勘定スルノデスカ

○木島政府委員 植栽ノ年カラデスカ
○栗原委員 ソレカラ第四條ノ命令ト云フ、其内容ハ一體ドシナコトニナッテ居リマスカ
○木島政府委員 是ハ私ノ方カラハ一寸
○栗原委員 ソレデハ提案者ガ御出デニナリマシタカラ、提案者ニ伺ヒマスガ、此第

四條ノ「保險料ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、其内容ヲ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○手代木委員 此第四條ノ「保險契約者ハ保險契約ノ申込ト同時ニ保險料ヲ拂込ムヘシ」保險料ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、此命令ノ内容ニ付テノ御尋デアリマスルガ、提案者ニ於キマシテモ、此命令ノ細カナ内容ニ付テノ調査ハマダ十分ニ致シテ居リマセヌノデ、十分ナ御説明ヲ申上ゲルコトガ只今ノ所一寸出來兼ネル譯デアリ

マスルガ一般ノ保險契約ノ場合ニ、保險料ノ取扱ニ關スル大體ノ取扱例ガアルノデアリマスルカラ、ソレ等ノ事柄ヲ内容ニ致シタモノデアリマシテ、ソレヲ本條ノ中ニ織込マズニ、別ニ命令デ以テソレ等ヲ定ムル、斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲ實際ニ實施致ス場合ニ於キマシテハ、其命令ノ内容ナドニ付テハ適當ニ考慮シテ貰フ、斯ウ云フ意味ニナッテ居リマス、尙ホ斯様ナ場合ニ如何ナル規定ガ適當デアるかト云フヤウナ點ハ、幸ヒ政府委員ガ居ラレルノデアリマスカラ、其意見ヲ參考ニ御述ベテ願フナラバ、大變好都合ダト考ヘマスカラ、左様ナコトニ一ツ御願シマス

○栗原委員 法律案ヲ御提出爲サル場合ニ、其法律案ノ中ニ、是ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムトカト云フヤウナ條項ヲ入レル際ニ於テハ、其命令ト云フモノ、内容ハ、凡ソ斯ウ云フモノデアルト云フ位ナ御説明ヲスルダケノ御準備ヲ爲サラナイト云フコトハ、甚ダ遺憾千萬ニ存ジマスルガ、是ハ又自ら已ムヲ得ナイ所ノモノガアルノデアラウト存ズルノデアリマスルガ、サウスルト第六條ノ保險金額ノ標準ハ命令ヲ以テ之ヲ定メルト云フ、其内容モ矢張十分ナ御研究ニナッテ居ラナイノデアリマスカ

○手代木委員 是ハ説明ノ時ニ大體申上ゲタノデアリマスガ、詰リ標準ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム——其標準ハ、植栽、詰リ造林ニ要シマスル費用ノ大體ヲ、全國地區ニ依リマシテ調査ヲ致シテ、實費ニ相當スルモノヲ計上致シテ、之ヲ標準トスル譯デアリマス、ソレデ内容ハ左様ナ取扱ニ付テ、其地方ノ造林ニ要スル苗木トカ、地拵ヘノ費用トカ、或ハ植栽費ト云フヤウナモノ、或ハ保險料、金利ト云フヤウナモノヲ加算シタモノヲ以テ、ソレニ依テ、又樹種ヤ何カニ依リ之ヲ何種類カニ定メマシテ、サウシテソレヲ標準トシテ、ソレニ依テ無審査ニ依テ保險ヲ受付ケル、斯ウ云フヤウニスル

ノヲ内容ニ致シテ居ル譯デアリマス

○栗原委員 ソレカラ第三條ノ、所謂幼齡林ヲ大體目的トシテ居ルト云フコトデ、二十年以上ノ、所謂完成林ト云フヤウナモノハ除外シタト云フ理由ヲ承リタイノデスガ、一體今政府委員カラモ御話ガアッタヤウニ、幼齡林ノ方ガ危険ノ率ガ非常ニ多く、且又保險會社等デ引受ケルコトヲ非常ニ厭ガルト云フコトハ、當然アリ得ルノデアリマスガ、併ナガラ農家ノ人々ノ希望ハ、森林保險ノ出來ルコトニ依テ、立木ヲ擔保トシテ、之ニ依テ金融ノ一機關トシタイト云フ希望ガ熱烈ナノデアリマスガ、擔保ニスル場合ニ於テハ、二十歳以下ノ幼齡林ヨリモ、寧ロ完全ニ成年ニ達シタ所ノ林ノ方ガ、擔保ノ目的物件タルノニ價値ガアルノデアリマス、其農村ノ希望ハ、是デハ容レラレナイヤウニナリマスガ、提案者ハ之ニ關シテドウ云フ御考デ、此二十年以上ノモノヲ除外爲サツタノデアリマスカ

○手代木委員 是ハ矢張法案提出ノ理由ヲ述ベマシタ時ニ申上ゲタ通りデアリマシテ、主トシテ此再造林ノ保證ト云フヤウナ所カラ出發致シテ居ルノデアリマス、ソレデ只今栗原君モ御述ベニナツタ通り、幼齡林ガ最モ被害ニ罹リ易ク、而モ一度火災ニ遭

ヘバ全損ヲ來タスヤウナコトニナルノデアリマシテ、ヨリ以上ノ年齢ノモノデスト云フト、其變ガ少イ、ソレデ一度火災ニ罹ルト、殆ド全滅ニナルヤウナモノヲ恢復スル、サウ云フヤウナコトヲ目的ニ致シテ、ソレデ此再造林ヲ別ニ適當ナ方法ニ二十年以下ト之ヲ見テ譯デアリマス、サウ云フ爲ニ二十年以下ニ此法案デハ書イテ居ル譯デアリマス、ヨリ以上ノモノハ只今ノ所不十分ナガラモ民間ノ會社ガアル譯デアリマスカラ、先ヅ最モ必要ナ二十年以下ノ幼齡林ダケニ付テ此制度ヲ確立シヨウ、斯ウ云フ目的ニ出テ居ルノデアリマス

○清瀨委員長 栗原君一寸御諮リシマスカ、アナタノ質問ハモウ少シ續キマスカ、續クヤウナラバ、一遍晝休ミヲシテ、諸君ノ御都合ガ好カッタラバ、午後ニ引續イテ開クカ、簡單ニモウオシマヒナラ、アナタノダケ質問ヲシマヒマセウカ

○栗原委員 私ノハモウ十分位デスカラマヒニシマセウ

○清瀨委員長 ソレナラバアナタノヲオシマヒニシマセウ

○栗原委員 今山村ニ居住シテ居ル農家ガ一番困ッテ居リマスノハ、田畑ノ多イ所、或ハ漁村ノ方々ヨリモ、金融ノ機關ガナイト

云フコトデ一番困ッテ居ルノデ、而シテ相當價格ノアル山林ヲ持ッテ居ル——立派ナ林相ヲ成シテ居ル樹木ノ山林ヲ持ッテ居ル所モ、之ヲ伐ルニハマダ數年早イ、若クハ價格ガモット出ルト云フヤウナ考カラシテ、伐ルコトガ出來ナイト云フ場合ニ於テ、全ク此金融ノ機關ガナイ爲ニ非常ニ困ッテ居ル、若シ農村ノ自力更生ヲヤラセヨウトスルナラバ少クトモ山村ノ自力更生ヲヤラセヨウトスルナラバ、此山村ノ樹木ニ對スル金融ノ途ヲ講ジテ、之ニ依テ自力更生ヲサセルト云フコトガ、今一番宜シイ、然ルニ二十年以上ノモノヲ假ニ致シマシテモ、今日森林保險ヲヤッテ居リマスル他ノ保險會社ノ事業ノ範圍ヲ侵スト云フ程ノコトニナラナイノミナラズ、假ニ之ヲ國營保險ト致シマシテモ、實害ガ更ニナイノデアリマスガ、實害ガナクシテ、而シテ山村ニ於ケル農民ノ自力更生ノ上ニ絶大ナル效果ガアルト云フ、此成年林ヲ除外シタ理由ハ、只今提案者ノ説明デハ、満足スルコトハ出來マセヌ、モウ少シ徹底ナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○手代木委員 詳細ナ説明ヲ申上ゲル迄モナイト思フノデアリマスガ、ソレ等ノモノニ付テモ必要デアルコトハ、御意見ノ通り

デアリマス、併ナガラ之ヲ國營ニシテ左様ナ成年林マデモ取扱フノガ善イカ悪イカト云フヤウナコトニ付テノ御意見ハ御意見デアリマシテ、吾々提案者ノ方トシマシテハ、左様ナモノハ國營ニ依ラザルモノ、所謂民間ノ會社ニ之ヲ委ネテ置イテモ、先ヅ不十分デハアリマスケレドモ、ソレニ暫ク満足スルコトニ致シテ——此民間ノ會社デモ取扱フ或ハ拒否マデモ致シテ居ルヤウナ状態ニアリマス此幼齡林——而モ又政府ノ方デハ年々造林ニ對スル相當ナ助成ヲ致シテ居ルノデアリマス、左様ニ一方ニハ造林ヲ大ニ獎勵致シテ居ル、斯ウ云フモノ、財産ノ確保ヲ致ス、又ソレト相俟ッテ其範圍ニ於テ金融ヲ圓滿ニ圖リ得ル、斯ウ云フヤウナ範圍ニ目的ヲ限ッテ、此法案ヲ提出シタ譯デアリマス、是レ以上ノコトハ國トシテ爲スベキ範圍ヲ吾々ノ見ル所デハ先ヅ脱シテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ所カラ取扱フ除外シテ居ル譯デアリマス、御意見ノ通りソレ等ノ森林ニ對シテ金融ヲ圖ラナケレバナラスコトノ必要ナコトハ、十分諒解出來ル譯デアリマスケレドモ、姑ク此幼齡林ノ方ダケヲ國營トシテ之ヲ取扱フ、而モ是ハ極ク簡單ナ方法ニ依テ此目的ヲ達成スルコトニシヨウ、サウ云フ趣旨デ此法案

ヲ提出シテ譯デアリマス

○栗原委員 マダドウシテモ私ニハ此林相

ヲ十分ニ成シテ森林ヲ除外スルト云フ理由
ヲ擱ミ得ナイノデアリマスガ、一體政府デ
ハ頻ニ自力更生、自力更生ト云フコトヲ言ッ

テ居リマスガ、山村ニ於ケル自力更生ハ所
謂相當ナ價格ガ現ニアル所ノ樹木、森林ニ
對シテ金融ノ方法ヲ講ズルヨリ外ニ、山村

ニ於ケル所ノ自力更生ノ途ト云フノハ絶對
ニナイ、然ルニ一方ニ於テ自力更生、自力
更生ヲ言ッテ居ル、又民政黨モ言ッテ居ル、然

ラバ此法案ヲ提出スル場合ニ於テハ、ドウ
シテモ、自力更生ヲサセルニハ如何ニシタ
ラ宜シイカト云フコトヲ御考ニナッテ居ラ

ナケレバナラナイノデアッテ、御考ニナッテ居
ルトスレバ、何等實害ガナク、又極メテ成年

林ニ對シテハ危險率モ少イシ、又危險ノ豫
防ニ關スル所ノ方法等モアルノデアリマン

テ、國家ガ之ヲ加ヘルコトニ依テ何等ノ實
害モナク、現在森林保險ヲヤッテ居ル保險業

者ノ事業ヲ壓迫スルト云フヤウナ憂モ少シ
モナイノデアリマスカラシテ、今日此非常
時ニ於ケル所ノ山村ノ人々ヲ救済スル意味
カラ言ッテモ、ドウシテモ是ハ成年林ヲモ御
加ヘニナルコトガ當然デアルト思フノデア
リマシテ、只今手代木君ノ御説明デ私ハ滿

足スルコトハ出來マセヌ、モウ少シ具體的

ナ御説明ヲ願ッテ、日本國民ノ山村ノ方々ニ
オ前達ノ持ッテ居ル成年林ハ金融ノ方法ヲ
講ジテヤラナイノダト云フコトニ付テ、滿

足スルダケノ御説明ヲモウ少シ願ヒタイト
思ヒマス、私共郷里ニ歸ッテモ、山村ノ方々
ニ何故ア、云フ風ナ法案ニ贊成シタカト理

窟ヲ言ハレテモ、答辯ガ出來マセヌカラ、
モウ少シ具體的ナ御説明ヲ願ッテ置キタイ
ト思ヒマス

○手代木委員 具體的ト仰シヤイマスケレ
ドモ、數度本會議以來繰返シテ申上ゲルヤ
ウナ譯デアリマシテ、二十年以下ニ限リタ

理由ヲ申上ゲマスレバ、ソレデ二十年以上
ノモノヲ除外致シテ趣旨ハ、自ラ明瞭ニナ
ルコトデアルト思フノデアリマス、ソレデ

此法案ガソレ等ノモノヲ除外シタコトヲ以
テ不十分ト看做サレルコトニナリマセウケ
レドモ、本案ノ趣旨ハ左様ナモノヲ含メナ

カッタト云フコトヲ以テ、ヨリ以上私ノ方カ
ラ詳シイ御説明ヲ申上ゲル理由モナイ譯デ
アリマスルガ、ソレ等ノモノハ又別個ニ此

場合考ヘテ然ルベキモノダラウト思フノデ
アリマシテ、二十年以上ノモノヲ除外シタ
理由ヲ茲ニ具體的ニ申述ベルマデモナイコ
トダト思フノデアリマス、大體先程カラ申

上ゲタコトデ御了解願ハレルコトダラウト

モ考ヘルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○栗原委員 先ヅ其點ハ意見ノ相違ト致シ
テ置キマスガ、ソレデハ一ツ根本的ノ御意
見ヲ承リタイト思ヒマスガ、先日御提案ノ

御説明ノ際ニ本法ヲ提案スル根本ノ理由
ハ、主トシテ農家ノ利益ヲ圖リ、農村生活
ノ安全ヲ圖ルニアルト云フヤウニ御説明ニ

ナッタノデアリマスルガ、果シテ然リトスレ
バ、本法案ト御説明トノ間ニ重大ナル矛盾
ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、若シ本

當ニ農家ノ利益、山村ノ住民ノ幸福ヲ圖ル
コトヲ主トシテアルナラバ、少クトモ此提
案ノヤウナ獨逸ノ「バイエルン」ノ建前ニ

依ル所ノ國立保險ノ建前トシナイデ、佛蘭
西ヤ、北米合衆國ヤ、伊太利ヤ諸國等ノ農

民生活ノ安定ニ重點ヲ置イタ建前ノ相互保
險ノ様式ヲ採ッテ、之ニ國家ガ一定ノ補助ヲ
スルト云フノガ當然デアリマス、然ルニ此

全體ノ建前ヲ拜見致シマスルト、獨逸ガ國
策トシテノ森林達成ノ建前カラ立テタ形式
ヲ、御採ニナッテ居ルトシカドウモ私ニハ判
斷出來ナイノデアリマス、是ハ其間ニ第一

本案ヲ御立案ニナッタ建前ニ於テ重大ナ矛
盾ガアリハシナイカト思フノデアリマス

ガ、若シ本當ニ農民ノ生活安定、農家ノ經

濟ノ「バランス」ヲ合セルト云フ所ニノミ
重點ヲ置イタトスルナラバ、獨逸ノ國家ノ

森林國策トシテノ建前ノモノヲ御採リニナ
ラナイ筈デアルト思フノデアリマス、私共
ハ農林當局ガ國家ノ國策トシテノ建前カラ

農林省デ定メラレタ要綱ノ如キモノヲ御作
リニナルコトハ、是ハ農林省トシテハ當然
デアルト思ヒマスガ、民間ノ政黨ガ斯ウ云

フ案ヲ提出スル場合ニ於テ、殊ニ自ラ是ガ
農民生活ノ安定ノ爲メノモノデアアル、是ガ
農家ノ經濟ノ「バランス」ヲ合セル爲メノ

モノデアルト言フナラバ、其形式建前ガ少
クトモ農家本位ニ立脚シテ居ラナケレバナ
ラナイト思フノデアリマスガ、是ハドウシ

テ獨逸ノ「バイエルン」ノ建前ノ國立保險
ニシテ、サウシテ此森林保險ガ非常ニ盛ニ
ナッテ居ッテ、農家ガ非常ナ利益ヲ得テ居ル

所ノ佛蘭西ヤ合衆國ヤ、伊太利ヤ、諸國等
ノ相互保險ノ建前ニシテ、之ニ國家ガ補助
スルト云フ建前ヲ御採リニナラナカッタノ

デアルカ、之ヲ先ヅ第一ニ御伺シテ置キタ
イト思ヒマス

○手代木委員 本案ノ目的ハ栗原君ノ言ハ
レルヤウニ、此法律ニ依テ農家全體ノ經濟
ノ建直シトカ、或ハ其經濟ニ圓滿性ヲ與ヘ

ルトカ云フ程廣範圍ノモノデナイノデアリマシテ、本會議ニ於ケル説明ハ、本法ニ依テ林木ノ安固ヲ圖リ、ソレニ依テ金融ノ圓滿モ圖ル、之ニ依テ造林ヲ獎勵スルコトニ資シタイ、斯ウ云フコトヲ簡單ニ申上ゲテアツクノデアリマシテ、ソレハ即チ此法文ニ含マレテ居リマス範圍内ニ互ッテ、左様

ナ目的ヲ達成シヨウト云フノデアリマスルカラ、森林全體トカ、或ハ天然林カラ何カラ總テヲ包含シタ意味デナク狭イ範圍ニ於テ、其狭イ範圍ノ林木ノ安固ヲ圖リ、ソレニ對スル金融ヲ圖ル、サウシテ殊ニサウ云フ幼齡林ナドハ、金融ノ圓滿ヲ缺イテ居ルノデアルカラ、其點ヲ助長シヨウ、民間會社ハアルガ、民間會社ハ主トシテ成年林ヲ取扱フコトニナツテ居ルノデ、其足リナイ部分ヲ、最モ困難ナル所ノ幼齡林ノ保險ダケヲ此法律ニ依テ補フ、サウシテソレ等ノモノハ相互組織ヤ、或ハ組合ト云フヤウナ組織トシテハ不十分デアルカラ、之ヲ國營ト致シテ經營シヨウ、斯ウ云フコトヲ申上

ゲタノデアッテ、相互組織トカ、組合トカ云フコトノ不便デアルコトハ、先程政府委員ガ御説明ニナツタノデ十分御諒承ノコトデアラウト思ヒマス、サウ云フノデアリマスルカラ、是ハ固ヨリ農村ノ生活ニ關係ハ

アリマスケレドモ、即チ此法律ノ定メラレテアル範圍内ノ目的範圍ニ限ッテ居ル譯デアリマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○栗原委員 私ノ御尋スルコトヲ御諒解ガナイヤウデス、私ハ何モ此法律一ツノ制定ニ依テ、農村全體ノ經濟ノ建直シトカ、何トカソナナムヅカシイコトヲ考ヘテ居リマセヌガ、少クトモ造林ヲ營業トシ、若クハ農家ノ片手間ニ造林ヲヤル、其營業者其者ニ對シテハ相當ノ利益ヲ與ヘ、其者ニ對シテハ其者ノ經濟ノ「バランス」ヲ合セテ行クヤウニスルト云フコトデナケレバ、本法ノ提案其モノガ無意義トナルト思フノデアリマス、若シサウデアルトスルナラバ、此當業者ダケデモ、或ハ山林ノ所有者デアリ、造林ヲ業トシテ居ル人ダケデモ、其人達ノ利益幸福ヲ念トスルト云フノデアルナラバ、其人達ノ多クノ力ニ依テ、各自ノ安全ヲ圖ル所ノ相互保險會社ノ組織ニシテ、之ニ國家ガ相當ノ補助ヲ與ヘルト云フ建前ガ宜シイト思フノデアリマス、例ハバ佛蘭西ニシテモ、合衆國ニシテモ、諸威ニ致シマシテモ、森林ノ何「パーセント」ト云フモノガ保險ニ付サレテ居ル、然ルニ獨逸ノ火災保險ノ如キハ、十年間ニ七百萬馬克バカリ火災ニ依テ損害ヲ受ケタニ拘ラズ、其十

分ノ一半バカリシカ保險金ヲ支拂ッテ居リマセヌ、亞米利加ニ致シマシテモ、諸威ニ致シマシテモ、森林ガ火災ニ依テ受ケタ損害ノ殆下大部分ハ損害トシテ保險金ガ支拂ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ實效ノ多イ方式ニ依ラズシテ、何故ニ實效ノ一番少イ所ノ方式ニ依ツタカ、是ガ私ノ伺ハントスル所デアリマス

○手代木委員 別段變タコトヲ申上ゲルコトモナイヤウニ思フノデアリマスガ、色々御意見ガアリマスルガ、吾々ノ考ヘル所ハ、先程カラ申上ゲル通りノ目的ニ依テ、茲ニ相互組織、或ハ組合組織ニ依テ政府ガ之ニ再保險スルヤウナ左様ナ制度ヲ採ラナカッタ、左様ナコトヨリモ直接國營トシテ、是等ノ幼齡林ノ保護助長ニ當ラウ、サウ云フコトデ唯單純ニ本案ヲ考ヘタ譯デアリマシテ、其他ノ事柄ハ意見ノ相違ニ屬スル點ガ多イコトニナルヤウニ思ヒマス

○栗原委員 是ハ意見ノ相違デモ何デモナイ、御互ニ山村民ノ生活ヲ心配スルカラ主張スルノデアリマス、若シ獨逸ノ「バイエルン」ノ建前ノ國立保險ガ良イ成績ヲ擧ゲテ居レバ論ハナイノデス、是ハ全ク成績ヲ擧ゲテ居ラナイコトハ、獨逸ノ火災保險ニ關スル所ノ統計ヲ御覽ニナレバ明瞭ニ分

ル、然ルニ此成績ヲ擧ゲテ居ラナイ所ノ獨逸ノ國立保險ノ建前ヲ探テ——併シ獨逸國トシテハ成功シテ居ル、即チ獨逸ノ造林ハ非常ニ能ク行ハレテ、モウ空ッポノ山ハナイ、サウシテ何處デモ美人ガ梳ッタヤウナ、非常ニ良イ林相ヲ成シテ居リマスノデ、國トシテハ目的ヲ達シテ居ルガ、農家其モノトシテハ甚ダ都合ガ好クナイノデス、其爲ニ此保險事業其モノハ盛大ニ行ハレテ居ナイ、成績ハ非常ニ不良デアル、世界デ一番林業保險ノ不成績ナ國ハ獨逸デアッテ、其獨逸ノ建前ハ此「バイエルン」ノ國立保險ノ建前ヲヤツテ居ルノデアル、其實例トシテハ獨逸ノ森林ノ全面積ノ極ク僅カシカ保險ニ付サレテ居ラナイ、又年々火災ニ因ル損害ニ對シテ、獨逸國ガ拂フ所ノ保險金額ト云フモノハ、極メテ僅少デアル、然ルニ他ノ相互保險ノ建前ニ依テ居ル所ノ國々ノ森林火災保險ハ、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ッテ、其國デ造林サレタ面積ノ大部分ガ保險ニ付サレテ居リ、又年々受ケル所ノ火災ニ因ル損害ノ大部分ガ保險金額トシテ支拂ハレテ居ッテ、非常ニ營業者ノ利益幸福トナツテ居ル、斯ウ云フハッキリシタ實例ガアル、一方ハモウ旨ク行カナカッタト云フ實例ガアルノニ、何ヲスキ好ンデ其旨ク行カナカッタノ

○栗原委員 是ハ意見ノ相違デモ何デモナイ、御互ニ山村民ノ生活ヲ心配スルカラ主張スルノデアリマス、若シ獨逸ノ「バイエルン」ノ建前ノ國立保險ガ良イ成績ヲ擧ゲテ居レバ論ハナイノデス、是ハ全ク成績ヲ擧ゲテ居ラナイコトハ、獨逸ノ火災保險ニ關スル所ノ統計ヲ御覽ニナレバ明瞭ニ分

ル、然ルニ此成績ヲ擧ゲテ居ラナイ所ノ獨逸ノ國立保險ノ建前ヲ探テ——併シ獨逸國トシテハ成功シテ居ル、即チ獨逸ノ造林ハ非常ニ能ク行ハレテ、モウ空ッポノ山ハナイ、サウシテ何處デモ美人ガ梳ッタヤウナ、非常ニ良イ林相ヲ成シテ居リマスノデ、國トシテハ目的ヲ達シテ居ルガ、農家其モノトシテハ甚ダ都合ガ好クナイノデス、其爲ニ此保險事業其モノハ盛大ニ行ハレテ居ナイ、成績ハ非常ニ不良デアル、世界デ一番林業保險ノ不成績ナ國ハ獨逸デアッテ、其獨逸ノ建前ハ此「バイエルン」ノ國立保險ノ建前ヲヤツテ居ルノデアル、其實例トシテハ獨逸ノ森林ノ全面積ノ極ク僅カシカ保險ニ付サレテ居ラナイ、又年々火災ニ因ル損害ニ對シテ、獨逸國ガ拂フ所ノ保險金額ト云フモノハ、極メテ僅少デアル、然ルニ他ノ相互保險ノ建前ニ依テ居ル所ノ國々ノ森林火災保險ハ、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ッテ、其國デ造林サレタ面積ノ大部分ガ保險ニ付サレテ居リ、又年々受ケル所ノ火災ニ因ル損害ノ大部分ガ保險金額トシテ支拂ハレテ居ッテ、非常ニ營業者ノ利益幸福トナツテ居ル、斯ウ云フハッキリシタ實例ガアル、一方ハモウ旨ク行カナカッタト云フ實例ガアルノニ、何ヲスキ好ンデ其旨ク行カナカッタノ

ル、然ルニ此成績ヲ擧ゲテ居ラナイ所ノ獨逸ノ國立保險ノ建前ヲ探テ——併シ獨逸國トシテハ成功シテ居ル、即チ獨逸ノ造林ハ非常ニ能ク行ハレテ、モウ空ッポノ山ハナイ、サウシテ何處デモ美人ガ梳ッタヤウナ、非常ニ良イ林相ヲ成シテ居リマスノデ、國トシテハ目的ヲ達シテ居ルガ、農家其モノトシテハ甚ダ都合ガ好クナイノデス、其爲ニ此保險事業其モノハ盛大ニ行ハレテ居ナイ、成績ハ非常ニ不良デアル、世界デ一番林業保險ノ不成績ナ國ハ獨逸デアッテ、其獨逸ノ建前ハ此「バイエルン」ノ國立保險ノ建前ヲヤツテ居ルノデアル、其實例トシテハ獨逸ノ森林ノ全面積ノ極ク僅カシカ保險ニ付サレテ居ラナイ、又年々火災ニ因ル損害ニ對シテ、獨逸國ガ拂フ所ノ保險金額ト云フモノハ、極メテ僅少デアル、然ルニ他ノ相互保險ノ建前ニ依テ居ル所ノ國々ノ森林火災保險ハ、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ッテ、其國デ造林サレタ面積ノ大部分ガ保險ニ付サレテ居リ、又年々受ケル所ノ火災ニ因ル損害ノ大部分ガ保險金額トシテ支拂ハレテ居ッテ、非常ニ營業者ノ利益幸福トナツテ居ル、斯ウ云フハッキリシタ實例ガアル、一方ハモウ旨ク行カナカッタト云フ實例ガアルノニ、何ヲスキ好ンデ其旨ク行カナカッタノ

ル、然ルニ此成績ヲ擧ゲテ居ラナイ所ノ獨逸ノ國立保險ノ建前ヲ探テ——併シ獨逸國トシテハ成功シテ居ル、即チ獨逸ノ造林ハ非常ニ能ク行ハレテ、モウ空ッポノ山ハナイ、サウシテ何處デモ美人ガ梳ッタヤウナ、非常ニ良イ林相ヲ成シテ居リマスノデ、國トシテハ目的ヲ達シテ居ルガ、農家其モノトシテハ甚ダ都合ガ好クナイノデス、其爲ニ此保險事業其モノハ盛大ニ行ハレテ居ナイ、成績ハ非常ニ不良デアル、世界デ一番林業保險ノ不成績ナ國ハ獨逸デアッテ、其獨逸ノ建前ハ此「バイエルン」ノ國立保險ノ建前ヲヤツテ居ルノデアル、其實例トシテハ獨逸ノ森林ノ全面積ノ極ク僅カシカ保險ニ付サレテ居ラナイ、又年々火災ニ因ル損害ニ對シテ、獨逸國ガ拂フ所ノ保險金額ト云フモノハ、極メテ僅少デアル、然ルニ他ノ相互保險ノ建前ニ依テ居ル所ノ國々ノ森林火災保險ハ、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ッテ、其國デ造林サレタ面積ノ大部分ガ保險ニ付サレテ居リ、又年々受ケル所ノ火災ニ因ル損害ノ大部分ガ保險金額トシテ支拂ハレテ居ッテ、非常ニ營業者ノ利益幸福トナツテ居ル、斯ウ云フハッキリシタ實例ガアル、一方ハモウ旨ク行カナカッタト云フ實例ガアルノニ、何ヲスキ好ンデ其旨ク行カナカッタノ

ヲ御ヤリニナルコトハナイヂヤナイカト云フノガ私ノ考デアツテ、是ハ意見ノ相違デモ何デモナイ、御互ニヨリ良クシタイト云フ至誠カラ申上ゲルノデ、其點ヲ御諒解ニナッテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○清瀬委員長 本日ハ此程度デ散會致シマシテ、成ベク明後日開キタイト思ヒマスケレドモ、政府委員ヤ何カノ都合モアリマスカラ、確定致シマシタナラバ、公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後零時二十分散會